

自動車の新技術に対する整備の拡充の経緯

整備環境

人材育成

	～H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度～
検討会	OBDの利用等に係る車両メーカーの情報提供のあり方検討会 ★ 報告書	汎用スキャンツール普及検討会 ★	自動車整備技術の高度化検討会 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★						
自動車メーカーからの情報提供開始時期と対象システム (整備要領書、スキャンツール開発情報等)	◎GVW3.5 t 以下、ガソリン車 ※参考 (H22.9～ (乗用10人以下 H20.10～) J-OBD II 義務付け (技術基準)		OBD告示→	排ガス関連(J-OBD II) 標準仕様→ トランスミッション、ABS/ESC、エアバッグ(順次追加)			新たな標準仕様案		アイドルストップ、ハイブリッド、ASV(センシングデバイス)等 タイヤ空気圧監視、オートレベリング、可変配光等
	◎GVW3.5 t 超、ディーゼル車 ※参考 (H15.10～ (GVW12 t 超 H16.10～) J-OBD I 義務付け (技術基準)		OBD告示及び標準仕様→	排ガス関連(J-OBD I (新長期)) 新たな標準仕様案			排ガス(J-OBD I (ポスト新長期)) トランスミッション、エアバッグ、ABS/ESC等		
日整連によるFAINESの運用 (整備事業者への提供開始時期と提供内容)	→ ○整備マニュアル情報(整備書、解説書等) ○技術情報(自動車メーカー等提供) ○故障事例&アドバイス情報 等 H10～運用開始			→ ○車両データ(サンプリングデータ) (スキャンツールで収集した正常車両のデータと市場の車両のデータが比較可能)					
法定研修	整備主任者研修(自動車の新技術に関する研修等)								
各種研修 (整備業界による研修)	スキャンツール活用研修			基本研修 応用研修					
				フォローアップ研修 ステップアップ研修 新技術研修					
整備技術の高度化推進事業					スキャンツール導入支援事業 研修支援事業				

は今回の報告書記載部分

※OBD告示・・・車載式故障診断装置を活用した点検整備に係る情報の取扱指針(国土交通省告示第196号 平成23年3月2日)

※自動車メーカーからの情報提供開始時期・・・車両システムのDTC読取・消去以外の機能についての情報の提供開始時期。